

北海道で牛から初めて分離された *Salmonella enterica* subsp. *enterica* serovar Cerro

泉 一宏^{1)†} 谷口有紀子¹⁾ 新井暢夫²⁾

- 1) 北海道十勝家畜保健衛生所 (〒089-1182 帯広市川西町基線59番地6)
- 2) 国研農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究部門
(〒305-0856 つくば市観音台3-1-5)

(2025年4月17日受付・2025年8月1日受理・2025年11月21日公開)

要 約

2024年、北海道十勝地域の3農場で実施された導入時検査において、無症状の子牛3頭から *Salmonella enterica* subsp. *enterica* serovar Cerro (*S. Cerro*) が分離された。これは北海道における *S. Cerro* の初めての分離報告例である。パルスフィールドゲル電気泳動による解析で、2株は同一パターン、もう1株も遺伝的に関連があることが示唆された。異なる農場から遺伝的に類似した株が分離されたことから、北海道内ですでに拡散している可能性が示唆された。いずれも導入直後に検出されたため、農場では他個体との接触回避措置が講じられ、当該牛に対しては排菌が陰性化するまで繰り返し検査が実施された。無症状保菌牛の移動は拡散リスクを高めることから、導入牛の一時隔離と着地時検査の徹底が重要と考えられた。——キーワード：牛，初分離，*Salmonella Cerro*。



本文はこちら
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jvma/78/11/78_e149_/article-char/ja

----- 日獣会誌 78, e149～e152 (2025)